

気温が下がり始め、気づけば 10 月も終わりに近づいていた。語学学校では成績の中間発表が行われ、クラスメイトと共に成績に一喜一憂した。アメリカの成績は A , B , C , D , F の 5 段階で評価され、RIT は A~D までの各アルファベットにプラスとマイナスがつき、合計 13 段階の評価で評価される。現在までに Writing & Reading と Analysis & Acc の成績発表が行われており、成績は順に B-、B であった。まずまずの評価が得られたのではないかと思う。また語学学校では毎週 2~3 回ネイティブスピーカーと話す機会が用意されている。ネイティブスピーカーの話すスピードはかなり早く感じるため、なかなか聞き取ることができず、大変である。また自分の言いたいこともすぐ言えずに会話のスピードについていくことができない。この時間は自分の英語力の低さを実感させられるため、正直あまり好きではないがネイティブスピーカーと話すことのできる貴重な時間であるので、無駄にしないようにしたい。

先月の報告書にてバレーボールクラブを見つけることができなかつたと書いたが、クラスメイトがクラブを作りそこに入ることができた。毎週月曜日に試合が行われ、そこに向けて週 2~3 回練習を行っている。まだ発足されて日が浅くまだまだ試合に勝つことができていないが、留学の 1 つの目的でもあったクラブに入ることができてとても嬉しい。チームメイトは最近バレーを始めた人も多く、私が教えられることが多くある。しかしまだまだ上手く教えることができない。もっと上手く英語を話しチームが強くなるように残りの時間を使いたい。

アメリカではハロウィンが日本よりも盛んに行われており、仮装やジャックランタンを多くの人が行っている。私もルームメイトと six flag という遊園地へ仮装をして行きアメリカのハロウィンを楽しむことができた。ジャックランタンもルームメイトに手伝ってもらいながら作ることができた。仮装もジャックランタン作りも人生で初めての経験でとても新鮮で楽しかった。またロチェスターで生活している日本人の人達や、その友人達とハロウィンパーティーを行った。そこには同い年で RIT に通っている人や、大学院で実際に給料を貰いながら生活している人など様々な人がいた。英語学習の方法やアメリカの文化について、大学院についてなど色々と面白い話を聞くことができた。彼らのおかげで、英語学習のモチベーションを上げることができた。

残りの留学生活が 1 ヶ月を切ろうとしている。留学当初は 1 日 1 日がとても長く感じていたが、現在では、1 週間すらすぐに過ぎていくように感じる。留学生活に慣れた証拠ではあるが、帰国の日が迫るにつれてやり残したことがまだまだ有るのではないかと不安になる。残りの 1 ヶ月は、今まで以上にアクティブに行動し、後悔がないように生活したい。